

ITC Conference 2006 ITコーディネータ活動 発表事例募集要項

2006年5月23日

ITC Conference 2006 実行委員会

1. ITC Conference 2006 の位置づけ

ITC Conference 2006 はITコーディネータが一堂に会し、経営者とともに今何をすべきかを考える全国的会議です。また、ITC Conference 2006 はITコーディネータ認定制度の継続研修の一環に位置づけると同時にITコーディネータの全国的ネットワーク醸成の場とも位置づけています。当大会開催によりITコーディネータ認定制度やITコーディネータの活動が広く産業界に紹介され、ITコーディネータの知名度浸透の1つの契機になることと思います。

2. ITコーディネータ活動 発表事例の募集の目的

ITC Conference 2006 ではプログラムの1つとして「ITコーディネータ活動事例発表」を設けます。これは、ITコーディネータとしての活動事例を共有し、お互いに実活動でのマーケティング方法やコンサルティング上のポイントの理解を深めること狙うものです。特に今年度は、経営とITの融合による経営革新事例、企業内ITCの活動、支援団体との連携によるITCビジネスの展開、および展示等の特別企画を募集します。事例を学習することで、企業における戦略的IT導入のあり方やコンサルティング活動の理解を深めて、顧客満足の高いよりよいコンサルティングにつながると思いますので、ITコーディネータとしての活動事例をお持ちの方は奮ってご応募をお願いいたします。

3. 募集事例の内容

今回募集する事例は、下記3つのコーステーマに沿った内容の事例を募集します。

Aコース：経営とITの融合による経営革新事例

経営戦略策定や、戦略情報化企画の段階からITCが参画したことによって経営革新に成功した事例で、経営者とITCが共同で発表することを基本とします。

Bコース：企業に属しているITCの活動事例

企業に属しておられる(ベンダー、ユーザー系)のITCがITC資格を活用又は、その知識能力を活かして、所属企業への貢献をした事例や、課題などから他の企業内ITCの参考になるような事例を歓迎します。

Cコース：支援団体との連携によるITCビジネスの展開事例

金融機関、商工団体、自治体など企業を支援する役割の団体とITコーディネータが連携して、企業活性化に寄与したり、ITCのビジネス展開に於いて他のITCの参考になるような事例を歓迎します。

4. 応募資格

事例の応募資格は、応募時点でITコーディネータでかつ、大会2日目(10月14日)に発表可能である方であつ、2名以上のITコーディネータより推薦を得られる方です。

2名以上のITコーディネータより推薦を受けていただくのは、発表事例としてふさわしい内容であることを応募者側で検討し、自己評価していただくためです。

5. 応募受付期限および審査日程

応募開始からそれ以降の審査日程は次のとおりとします

受付開始 5月29日(月)

受付終了 6月12日(月) 17:00

審査 6月13日～6月20日

(必要に応じてヒアリングを行ないます 6月13日～19日前後)

発表者通知 6月23日(金)(一両日遅れる場合があります)
発表資料提出締切 9月11日(月)予定(対象者に追って連絡します)

- *1:審査は、ITC Conference 2006 実行委員会が行います。
- *2:発表事例として該当する事例の応募がない場合は、実行委員会側で発表者を選定することがあります。
- *3:発表者には、発表資料とは別に、別途事例論文の提出があります。

6. 応募方法

【ITC Conference 2006 ITC活動 発表事例応募書式について】を参照の上、所定の応募用紙を以下のE-mailアドレス宛にお送り下さい。

E-mail: confer-2006@itc.or.jp

7. 応募する上での注意事項

(1) 応募手順について

発表事例の応募は、所定の書式を利用して、行ってください。所定の書式に関しては、添付【ITC Conference 2006 ITC 活動 発表事例応募書式について】を参照して下さい。

(2) 応募事例の取扱いについての確認事項

発表用資料や事例論文として提出された文書・資料は、ITコーディネータ協会から随時公開されることになりますので、ご了解下さい。

8. 審査結果の発表

審査結果の発表は、決定後速やかにメールにて応募者に通知します。

9. 事例発表についての「資格更新条件」のポイントの付与に関して

提出された事例発表用資料は、後日提出していただく事例論文とあわせて、「資格更新条件」の知識ポイント「ITC活動による成功事例論文」に該当し、最大5ポイントの知識ポイントが付与されます。(付与されるポイント数は、事例論文の審査結果によります。)

10. 発表者の交通費等について

事例発表者の発表当日の交通費に関してはITコーディネータ協会旅費規程に準拠し、原則実費で支給いたします。詳細につきましては別途個別に説明いたします。また、大会2日目の参加費につきましては、免除となります。なお、手続きの関係で、後日精算になることがありますので、あらかじめご了承願います。

11. 申込みおよび問合せ先

本件に関する申込みおよび問い合わせは、以下をお願いします。

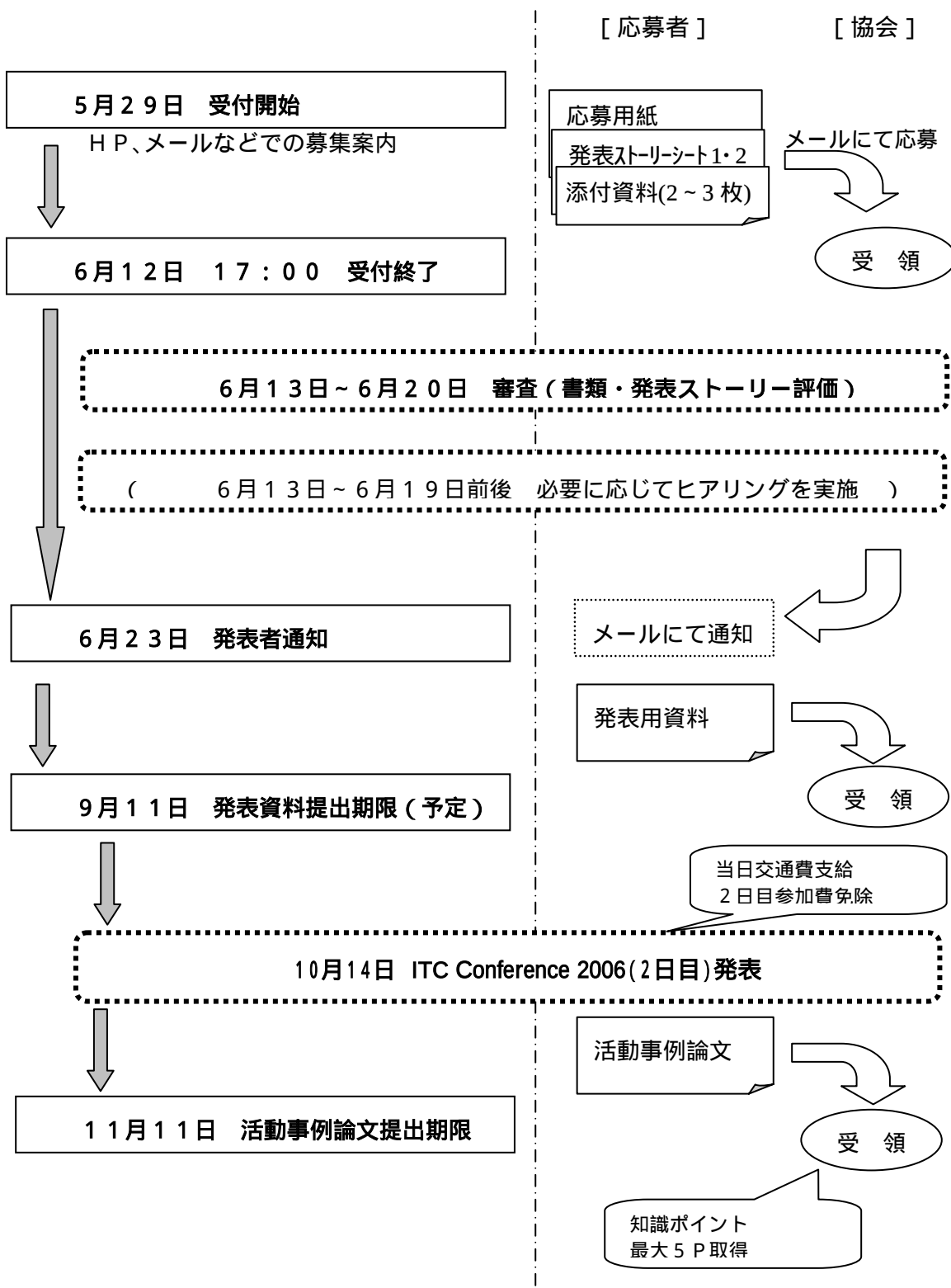
特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会 ITC Conference 2006 発表事例募集担当

E-mail: confer-2006@itc.or.jp

電話: 03-5733-8380

住所: 〒105-0011 東京都港区芝公園1-8-21 芝公園リッジビル7階

【ITコーディネータ活動事例発表者選定手順】



【ITC Conference 2006 ITC 活動 発表事例応募書式について】

(1)発表事例の応募書類作成に際しては、次の手順にしたがい手続きをお願いします

IT コーディネータ協会 HP からの応募用紙のダウンロード

事例発表ストーリーシート提出

(2)応募用紙に関して

ITコーディネータ協会の HP からダウンロードした応募用紙を使って、応募してください。

応募用紙は、次のような構成になっています。

応募者基本事項(氏名、連絡先、発表タイトル、事例対象企業名、推進者名、など)

IT コーディネータ活動事例発表ストーリーシート1/2

IT コーディネータ活動事例発表ストーリーシート2/2

(3)事例発表ストーリーシートの作成要領

事例発表ストーリーシート1/2の記載事項は、次の通りです。

発表タイトル

発表者名および認定番号

発表論旨(発表論旨を1000字以内でまとめて下さい。事例の背景、ITC 参画のねらい、具体的な課題、実施したこと、体得したことなど、事例の内容がわかるように、まとめて下さい)

ITC プロセス実施範囲 (ITC プロセスの該当するフェーズを示して下さい)

自己紹介および応募にあたっての自由意見 (発表者の経歴など、発表の裏付けとなる情報を紹介して下さい)

事例発表ストーリーシート2/2では、書式にしたがって、発表を想定したシナリオを、10ステップ程度でまとめて下さい。必要に応じて、2、3枚程度の添付資料があっても構いません。

(4)選定後の資料作成について(発表用資料作成要領)

発表用資料は、事例発表ストーリーシートをもとに、パワーポイント等のプレゼンテーションツールで作成して頂くことになります。発表者にはMS-PowerPointのテンプレートならびにITC Conference 2006のロゴデータをお送りします。

発表用資料はそれらを利用して作成してください。詳しくはその時の案内を参照してください。

なお発表時間は約60分で、発表用機材としては、パソコン及びプロジェクター(Windows対応)を準備します。

(5)活動事例論文について

事例発表していただいた方には、別途活動事例を論文として提出していただきます。これはITコーディネータの事例紹介として、随時公開されることになりますので、ご了解下さい。論文の書式および作成要領については、別途連絡いたします。

【ITC Conference 2006 ITコーディネータ活動 発表事例応募用紙】

《基本事項》

【記入事例】

項目	記入欄	補足
申込者氏名	相亭 幸次郎	
申込者氏名(カナ)	アイテイ コウジロウ	
申込者認定番号	0011112004C	ITC(補)認定番号を記入してください
連絡先		
E-mail	Itca-taro@xxxxxxxx.co.jp	
電話番号	自宅 : 03 - 37XX - 72XX 勤務先 : 03 - 59XX - 01XX	
住所	自宅 : 〒153 - 00XX 東京都〇〇区〇〇町1 - 5 - XX 勤務先 : 〒100 - 00XX 東京都〇〇区〇〇5 - 5 - X 〇〇〇ビル	
勤務先名	〇〇〇〇株式会社 部	
発表タイトル	海老士商事における、物流システム導入による企業革新事例	
コース	☒ 経営とITの融合による経営革新事例、 ☐ 企業に属しているITCの活動事例 ☐ 支援団体との連携によるITCビジネスの展開事例 (該当するフェーズの ☐ を、 ☒ に替えてください)	
事例対象企業名	株式会社海老士商事	
経 営 者	お名前	海老一郎
	お役職	
		経営者とのジョイント発表 : 可 / 不可 (〇で囲む)
推薦者1	氏名 : 水仙 花子	認定番号 : 0011132003C
推薦者2	氏名 : 一押 太郎	認定番号 : 0011122002C

《記載上の注意事項》

推薦者はITコーディネータ認定を受けた2名とし、氏名と認定番号を必ず記入して下さい(募集要項4)。

発表事例についてはITコーディネータ協会から随時公開されます。その際事例対象企業名は実名として公開しますので、事例対象企業様の了承をいただき、用紙に記入して下さい(募集要項7-(2))。

《発表タイトル》海老士商事における、物流システム導入による企業革新事例

《発表者名/認定番号》相亭 幸次郎 / 0011112004C

《発表論旨》(1000字以内)

海老士商事は、中堅の日用品卸売業として30年間事業を続けてきた。最近になって業績の停滞が続く中で、海老士商事としても、サプライチェーンの枠組みにしっかりと組込まれた事業を確立するという狙いで、物流システムの導入を行った。

事業レベルでのシステム導入に不安を持った同社から、相談を受け、提案内容が認められて契約に至った。

現状の事業規模や想定される将来の姿にあったシステム選定や、従来からの仕事のやり方をどう新しいシステムに適合させたか、などを含めた企業革新事例について報告する。

《ITCプロセスにおける実施範囲》(該当するフェーズの□を、■に替えてください)

■経営戦略、■戦略情報化、■情報化資源調達、■情報システム開発・テスト・導入、□運用サービス・デリバリー

発表者自己紹介および発表にあたっての自由意見

私自身の経歴は次の通りです。

中堅の生産財卸会社に10年勤務。営業および受発注管理の業務を担当。

システムベンダーに転職し、SEを5年経験。

現在独立し、共同でシステム導入支援のコンサルティング会社を経営。

皆様に実際に体験したITCとしての活動を発表し、中小企業やITCに関係する皆様にお役にたてればと思います。

《発表タイトル》海老士商事における、物流システム導入による企業革新事例

《発表者名/認定番号》相亭 幸次郎 / 0011112004C

発表ストーリー (10ステップ程度にまとめる。必要に応じ2～3枚程度添付資料をつける。)

発表ストーリー (10ステップ程度にまとめる。必要に応じ2～3枚程度資料を添付する。)

1. 海老士商事の事業概要

創業:
資本金:
売上高:
従業員数:
事業所:

6. 経営改革企画

2. ITCとして参画した経緯

地域振興センターからの相談で、顧客訪問
ユーザー側に立った姿勢を評価され支援依頼される。

7. 情報化資源調達・システム開発フェーズ

RFPの発行
ベンダーの特色が出た提案内容
海老士商事にとって、最適なシステムの選択

3. 経営戦略策定フェーズ1

現状分析結果
強み/弱みの分析結果
CSFの抽出

8. 運用サービスデリバリーフェーズ

今後の取組み課題

4. 経営戦略策定フェーズ2

改革テーマの設定:新物流システムの構築

ビジネスモデルの策定

マネジメント要件の定義

9. まとめ

確認できた成果

ITCとしての収穫

5. 戦略情報化企画フェーズ

10.